

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧
告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 北海道河西郡更別村立更別小学校
 種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()
 住所 〒089-1532
北海道河西郡更別村字更別南1線101番地
 E-mail : sarasho2@sarabetsu.jp
 Website : 未開設
 児童生徒数 : 男子 73名 女子 80名 合計 153名
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

①地域の自然や産業に学び、人々とのふれ合いや体験活動などを通して、ふるさとさらべつを愛し、ふるさとに誇りを持つ子どもを育てる活動。

○農園活動

農業に従事するPTAの協力をいただき、学校農園で、地域の主産業である農作物の栽培を全校児童で行った。児童が育てた野菜は、10月3日に収穫祭で試食した。

○JA 更別青年部との交流

JA 更別青年部の協力をいただき、5年生が大豆の栽培に取り組んだ。5月に種まきを行い、9月に枝豆を収穫して試食した。10月に大豆の収穫を行い、12月に豆腐作りを行った。

○ふれあい郵便

異世代間での交流を目的に、村内在住の80歳以上のお年寄りの方を対象に、全児童で手紙を書いた。たくさんの方々からお礼の返事をいただいた。

○村民参観日・末広学級との交流

全更別村民の方を対象にした村民参観日を実施した。この日は、保護者のもとより、地域に住んでおられる方、また、村外に住んでおられる児童の祖父母の方も来てくださった。同日、末広学級の方々との交流会も実施した。児童が計画したゲームやクイズで、子どもたちはもちろん末広学級の皆様にも楽しんでいただいた。

○幼・保・小・中・高の連携

村内の幼稚園児・保育園児と1年生の交流を行った。幼稚園や保育園に向いての交流や、幼稚園児や保育園児を招いての学習などを行った。中学生の職場体験を受け入や、更別農業高校に学校花壇の設計をしていただいた。

○本の読み聞かせ

地域の読み聞かせボランティアグループ「おはなしを楽しむ会おひさま」の皆さんが、月に1回休み時間に来校し、児童に本の読み聞かせをしてくださった。この活動は、平成16年10月から始まっている。

○全校縦割り活動

1年生から6年生までの全校児童を8つのグループに分けた活動を行った。校舎外清掃、ゲーム等、高学年が中心となって勤労生産的な活動や集会等の活動を実施した。この活動を通して、高学年は低学年の面倒をよく見、低学年は高学年の姿から、リーダーへのあこがれを持つことができた。

○あいさつ運動・交流給食

児童会の活動として、玄関前で行うあいさつ運動やあいさつキャンペーン、低学年と高学年と一緒に会食する交流給食等、子ども同士が触れ合う取り組みが多数行われた。

②本校における教科や総合的な学習の時間など様々な活動(人権・平和・環境・福祉・産業・伝統・情報・文化・地域貢献)の継続と充実を通して「持続可能な社会」「郷土の未来」を担う子ども達を育てていく。

○人権の花運動

今年度更別村は、十勝管内人権の花運動の指定を受け、更別小学校でも人権の花運動を行った。2年生が中心になり、花壇に花を植えた。7月8日の全校朝会の場で、更別村人権擁護委員の方から人権について話を伺った。

○いじめをなくそう宣言

「学校いじめ防止基本方針」を作成し、いじめのない学校づくりに取り組んでいるが、本校では児童会が中心となり、平成19年に「いじめをなくそう宣言」を制定している。全校朝会の時には、児童会役員の進行で全児童が朗読している。

○緑の募金・リサイクル活動

児童会代表委員会が中心となって、「緑の募金」の取り組みをした。集まった募金は、村の植樹祭に使う苗木の購入に使われた。また、全校の取り組みとして、牛乳パックのリサイクルやゴミの分別、節電に積極的に取り組んでいる。

○車いすの体験

6月、4年生が総合的な学習の時間に車いす体験をした。社会福祉協議会の方を講師に招いて、はじめに車いすの使い方を学んだ。その後、座る側と介助する側になって二人で声をかけ合いながら活動した。いきなり動かしてびっくりさせないように、「うごきますよ。」「段差がありますよ。」など介助する側が同じ目線で声をかけることを実践した。

○エネルギーについて考えよう

12月、3年生が総合的な学習の時間にグループごとにエネルギーについて調べ参観日に発表した。本校はソーラーパネルが設置されており、発電のしくみや発電量などについて詳しく調べて発表するグループもあった。

(2) 活動時間について(下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用(総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他()